

公益社団法人全日本病院協会 主催

修了証発行研修

【令和6年度診療報酬改定対応研修】 看護補助者への適切な研修 身体ケアを行う 看護補助者のための実務研修



令和6年度診療報酬改定において、主として直接患者に対し療養生活上の世話をする看護補助者を一定数配置している場合の評価が新設されました。この「看護補助体制充実加算1」の施設基準の要件として、3年以上の看護補助者としての勤務経験を有する看護補助者を対象として、以下の研修修了が定められています。

(イ) 国、都道府県及び医療関係団体等が主催する研修であること（12時間程度）

(ロ) 講義及び演習により、次の項目を行う研修であること

1. 直接患者に対し療養生活上の世話をを行うことに伴う医療安全
2. 直接患者に対し療養生活上の世話をを行うために必要な患者・家族等とのコミュニケーション
3. 療養生活上の世話に関する具体的な業務（食事、清潔、排泄、入浴、移動等に関する各内容を含むこと）

これまで実施してきたオンラインを利用した看護師長等への所定の研修に加えて、上記の施設基準要件に則った看護補助者のためのeラーニング+演習による研修を定期的を開催することとなりました。療養生活上の世話を実施する看護補助者が看護チームの一員として活躍できるよう、当研修をご活用ください。

募集期間

2024. 5/21(火)～6/5(水)

研修
期間

事前課題

2024.6/6(木)～6/26(水)

オンライン演習

2024.6/28(金)15時～17時

受講人数 50名（10名×5グループ）

※初回のみ50名として、2回目以降は100名で実施

受講料金
(税込)

全日本病院協会会員

11,000円

非会員

16,500円



本研修は「国、都道府県又は医療関係団体等が主催する研修（12時間程度）」に該当します。

研修 プログラム	所要時間 講師	講義12時間22分 + 演習2時間（合計14時間22分） 関西医療看護大学看護学部教授 箕浦洋子氏
	講義 eラーニング	直接患者に対し療養生活上の世話を 行うことに伴う医療安全①②③④⑤ 直接患者に対し療養生活上の世話を 行うために必要な患者・家族等とのコミュニケーション①② 療養生活上の世話に関する具体的な業務①②③④⑤ 統合学習①②
	演習 Zoomミーティング	事前課題と演習 演習：①直接患者に対し療養生活上の世話を 行うことに伴う医療安全 ※演習では課題を作成いたしますので、パソコンでご参加ください。

お申込みはこちら

<https://nurseaidgeneral.vexon.jp>

エスキュー

検索

お問い合わせ

ヴェクソンインターナショナル株式会社

(S-QUE 研究会事業部)

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-15NTF竹橋ビル8階

MAIL : support@vexon.jp



Vexon
International

【研修プログラム】1～14（講義）は12時間22分、15（演習）は2時間 合計14時間22分

番号	項目	内容	研修形態	時間
1	直接患者に対し療養生活上の世話をを行うことに伴う医療安全①	<ul style="list-style-type: none"> ①医療制度の理解 ②チーム医療と医療安全 ③看護補助者の職業倫理、個人情報保護とプライバシー保護ハラスメントに関する知識、連絡・報告・相談 	e ラーニング	0:33
2	直接患者に対し療養生活上の世話をを行うことに伴う医療安全②	<ul style="list-style-type: none"> ①安全なケアのため共通言語を身につける～知っておきたい医療用語 ②患者情報共有のための電子カルテの閲覧の方法 ③看護補助者に必要な診療報酬にかかる知識 	e ラーニング	0:49
3	直接患者に対し療養生活上の世話をを行うことに伴う医療安全③	<ul style="list-style-type: none"> ①安全を考慮した業務 ②移動・移送 ③転倒・転落予防 	e ラーニング	0:52
4	直接患者に対し療養生活上の世話をを行うことに伴う医療安全④	<ul style="list-style-type: none"> ①院内感染の基礎知識 ②感染予防策の実際1 ③感染予防策の実際2 	e ラーニング	0:54
5	直接患者に対し療養生活上の世話をを行うことに伴う医療安全⑤	<ul style="list-style-type: none"> ①廃棄物、鋭利器具 ②使用機材、器具 ③暴露予防 	e ラーニング	1:01
6	直接患者に対し療養生活上の世話をを行うために必要な患者・家族等とのコミュニケーション①	<ul style="list-style-type: none"> ①基本的なマナー ②相手を尊重した関わり方 ③看護補助者としての責任ある対応 	e ラーニング	0:46
7	直接患者に対し療養生活上の世話をを行うために必要な患者・家族等とのコミュニケーション②	<ul style="list-style-type: none"> ①認知症の理解 ②認知症ケアにおける看護補助者の倫理 ③認知症の患者とのコミュニケーションとケアの工夫 	e ラーニング	0:55
8	療養生活上の世話に関する具体的な業務①	<ul style="list-style-type: none"> ①病室環境の調整 ②入院・退院 ③シーツ交換 	e ラーニング	0:50
9	療養生活上の世話に関する具体的な業務②	<ul style="list-style-type: none"> ①食べる楽しみの獲得 ②自立支援に繋げる食事介助 ③口腔ケアの基本 	e ラーニング	0:43
10	療養生活上の世話に関する具体的な業務③	<ul style="list-style-type: none"> ①入浴・シャワー浴の介助 ②部分浴、洗髪、整容の介助 ③全身清拭、寝衣交換 	e ラーニング	0:59
11	療養生活上の世話に関する具体的な業務④	<ul style="list-style-type: none"> ①体位調整 ②車椅子での移乗・移送 ③ストレッチャー・歩行介助 	e ラーニング	1:02
12	療養生活上の世話に関する具体的な業務⑤	<ul style="list-style-type: none"> ①排尿・排便の援助 ②おむつ交換 ③トイレへの誘導 	e ラーニング	1:28
13	統合学習① (①直接患者に対し療養生活上の世話をを行うことに伴う医療安全、②直接患者に対し療養生活上の世話をを行うために必要な患者・家族等とのコミュニケーションを学ぶ)	<ul style="list-style-type: none"> ①医療安全のための情報共有 ②よい看護チームになるためのコミュニケーション ③患者とのコミュニケーション 	e ラーニング	0:45
14	統合学習② (①直接患者に対し療養生活上の世話をを行うことに伴う医療安全、③療養生活上の世話に関する具体的な業務(食事、清潔、排泄、入浴、移動等に関する各内容を含む)を学ぶ)	<ul style="list-style-type: none"> ①麻痺がある患者の生活援助 ②コミュニケーションが難しい患者の生活援助 ③嚥下機能低下が考えられる患者の生活援助 	e ラーニング	0:45
15	オンライン演習 ①直接患者に対し療養生活上の世話をを行うことに伴う医療安全	<p>【事前課題と演習】</p> <p>1) eラーニング修了後に事例映像を視聴し、事前課題として簡潔にレポート提出 2) 提出した事前課題を持ちより、グループに分かれディスカッション</p> <p>【グループディスカッションタイムスケジュール】(120分)</p> <p>14:50 入室 15:00～15:15 (15分) セッション開始：e-ラーニングのポイント 15:15～15:25 (10分) 演習ビデオ再視聴、オリエンテーション 15:25～16:10 (45分) ディスカッション(演習ビデオから) 16:10～16:50 (40分) グループ発表、質疑応答(全グループ100名、1G10名) 16:50～17:00 (10分) まとめ</p>	オンライン ディスカ ッション	2:00